

のせ町

No.66

平成29年6月

議会だより



議会が新体制でスタートしました

議員紹介・議会構成

定例会議報告・討論

一般質問

委員会報告

住民の皆様とともに、 能勢の未来を拓きます！

議長 中 植 昭 彦
副議長 西 河 巧

ごあいさつ

4月23日投開票の能勢町議会議員選挙におきまして、12名の新議員が誕生いたしました。

住民の皆様への負託に応えるべく自己研鑽に努めるとともに、皆様の声をしっかりと受け止め、議会に反映してまいります。

能勢町議会基本条例を踏まえ、二元代表制の一翼を担う議会として、行政の事務執行を監視し、さらに政策提案もできるよう取り組んでまいります。

本会議・委員会等、公開してまいりますので是非とも傍聴にお越しくださいますようお願いいたします。

能勢町議会

平成29年能勢町議会5月会議報告

5月会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

報告第1号 専決処分の報告について「能勢町税条例の一部を改正する条例」

報告第2号 専決処分の報告について「能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

報告第3号 専決処分の報告について「平成28年度能勢町一般会計補正予算（第6号）」

議案第31号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
長尾 義和

議会議案第3号 広報特別委員会の設置について

連絡先
(☎)
737-1099
(携帯)
090-2103-9322



岡本 ひとし

抱負：豊で平和でありたい。そう願う未来に一步でも近づくためのキーワードは対話です。「教育・福祉の充実と人権擁護」に取り組みます。

連絡先
(☎)
734-3311



森田 則子

抱負：女性ならではの視点で住民の皆様の声を町政に届け、全世代の方が幸福感を感じられる町づくりに全力投球してまいります。

連絡先
(☎)
734-2008
(携帯)
090-7491-6956



西河 巧

抱負：豊かな自然を守り、魅力ある街、安心して暮らせる街をめざし、全力で取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
737-0768
(携帯)
090-5368-5337



平田 要

抱負：元気・交流・活力を取り戻し、いつまでも住み続けたい自然と調和した安心・安全なまちづくりをめざし、「初志貫徹」を心の常とし取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
734-3736
(携帯)
080-8531-7214



大平 喜代江

抱負：老いることが尊敬され、若い世代が希望をもてる長寿社会をめざし、従前どおりを打破する心意気で臨みたい。

連絡先
(☎)
734-0882



伊木 真由子

抱負：住民の皆さんの声が反映されるまちづくりをめざし、活動してまいります。そして全力で課題の解決に取り組みます。

連絡先
(携帯)
090-8231-1049



中西 顕治

抱負：日本共産党の立党精神「国民の苦難の軽減に献身する」を胸に諸課題の解決を皆さんと一緒に取り組んでまいります。

連絡先
(携帯)
090-9098-4099



長尾 義信

抱負：「健康で元気なまちにしたい！」育てていただいた能勢町のために、小さいことからしっかりと情熱と誠意をもって取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
734-2003
(携帯)
090-5125-5806



大西 則宏

抱負：みなさんの『夢 希望 声』が能勢の明日を決めます。for能勢まちづくり、くらしの充実に取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
734-0503



中植 昭彦

抱負：さあ、能勢の未来を語ろう！能勢に関わるすべての方々が笑顔で暮らせるまちをめざし、未来を描いてまいります。

連絡先
(☎)
734-1653
(携帯)
090-4907-2257



長尾 義和

抱負：『絶対、ブレません。』初心を忘れることなく、何事も焦らず、諦めず、課題の解決に向けて誠心誠意取り組んでまいります。

連絡先
(携帯)
080-9089-5619



奥 久明

抱負：住民の皆様の声を積極的に聞く身近な議員をめざします。希望あふれる活力のあるまちづくりに取り組んでまいります。

・掲載の順序は右上段より左へ議席順で掲載しています。 ・原稿は議員の責任において作成したものです。
・連絡先は、議員個人の判断によって掲載しております。

総額45億5800万円

総務民生常任委員会報告

委員長 福中 満

3月16日および17日、21日に本委員会に付託された「平成29年度能勢町一般会計予算」のうち、総務部、健康福祉部、出納室、議会事務局の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問旧小中学校跡地の今後の管理運営はどのようにするか。

答平成29年度からは教育委員会から総務部に管理が移る。旧学校施設を今まで利用してきた団体等には大きな変更はない。未耐震の校舎については基本的に使用できないが、今後については地域の要望等を踏まえて検討していく。校舎の除却については、財政面も考慮して検討していきたい。また今年度は体育館にAEDを設置し、地域住民が必要に応じて利用できるようにする。

問公共施設等総合管理計画をどう進めるか。

答本年度中に計画を策定し、個別施設計画を平成32年度を目標に策定する予定である。また今年度は庁舎の移転について個別施設計画及び実施設計を優先的に進めたい。次に集約化を推進すべき施設として旧歌垣小学校について計画を進めたい。家族が集える公園の整備については、まず能勢の郷から先行させて進めていきたい。

問健全な財政運営をどう進めるか。

答現在財政部門と企画部門が同じ課にあるが、今後は同じ課の所管にならないようにしたい。29年度予算については、自主財源が3割、公債費が5億円、学校の再編による交付税の減少など、財政的に厳しい状況にあるが、交付金を有効活用して予算編成に努め、必要なところに予算措置を行った。

問自主防災組織の結成と事業補助について。

答規約を添えて役場に通知することによって結成できる。

備品等の補助を受けるためには情報伝達の組織づくり、訓練計画等の整備を行い申請することで受けられる。

問住民自治推進事業については、2年間にわたる事業や複数区での協働事業交付金の、柔軟な対応ができないか。

答基本的に単年度会計での運用を継続したい。また区ごとに一律20万円という予算の組み方については、防災・福祉等の課題も含め、内容や金額についても再検討したい。

問防犯カメラの設置と効果についてはどうなっているか。

答平成28年度に9台、29年度に6台全部で15台を、隣接自治体との境界に設置する計画である。行方不明事案等で警察への情報提供を行い解決した事例もある。

問介護保険制度など、包括支援センターの様々なサービスについて、その情報が得にくい。住民に対してどう情報提供していくか。

答保健福祉センターの窓口ではよく話を聞き、パンフレット等も用いて、丁寧な対応に努めている。今後もホームページや広報だけでなく、民生委員・社会福祉協議会・学校等、様々なネットワークを活用して情報提供の充実に取り組みたい。

問子ども医療費助成事業が15歳から18歳に拡充されたが、住民への情報提供をどのように進めるか。

答対象者には説明書の送付や医療証の交付を行い、広報でも資料等を示しお知らせしたい。また問い合わせがあれば、詳細について丁寧に説明していきたい。

続いて、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、それぞれの予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

2月21日、総務民生常任委員会を開催し、平成29年4月から新たに開始される介護保険「総合事業」について担当課から説明を受け、質疑を行いました。その主な内容は次のとおりです。

- 総合事業の趣旨
- 背景・基本的考え方
- 総合事業の全体像
- 総合事業の概要
- 移行スケジュール
- 「訪問型サービス」「通所型サービス」等の総合事業のサービスの内容等

平成29年度能勢町一般会計予算可決！

予算内容を深く専門的に審議するため、各常任委員会で審査を行いました。

環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

3月10日および13日、15日に本委員会に付託されました「平成29年度能勢町一般会計予算」のうち、環境創造部、教育委員会の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 町道の維持管理、特に降雪時の対応はどうか。また、通学路に関して、学校との連携体制は。

答 町道の維持管理については、要望のあった場所と町確認箇所を並行して進めているが、件数が多く対応が遅れている。今年の降雪時には、町道平野線と通学バス路線町道を中心に職員により対応した。学校には融雪剤を提供し、校内および学校周辺の除雪対応を実施した。

問 60歳の成人式の実施内容・目的は何か。

答 対象は平成29年度に60歳を迎える方で、全員に郵送案内する。実施期日・内容については、対象者のライフスタイルに合わせ、名称も含めて検討中である。事業実施により、能勢が抱える社会的・地域的課題解決に取り組んでいただける人材の確保も事業成果として考えている。

問 学力向上に関しては、新学校が開校し、規模が大きくなったことで、きめ細やかな指導がしづらくなっていないか。平均にとられるだけでなく、全体の底上げが肝心であると考えているが、取り組みは。

答 新学校開校を契機として、さらに組織的に取り組み、教員の指導力向上に努めていく。また、子どもたちが自主的に学ぶということを主眼に、向上心を高める教育を進めていきたい。

問 能勢町の情報発信に関して、マスコミや関係機関との連携を進めることが必要ではないか。

答 イベント開催時には、記者クラブ・各新聞社の文化担当に発信している。また、大阪観光局に能勢の風景PR情報を積極的に提供するとともに、能勢電アトラインと連携し能勢の情報発信を行っている。

問 新規就農者の確保、自立後の支援体制はどうなっているのか。

答 制度申請時の面接で、経営形態・生産物の内容を協議のうえ、計画書作成のアドバイスを行っている。支援体制については、新規だけでなく全農業者にも、将来、競争力のある農業経営が可能となるよう、フォローしている。

問 「能勢の郷」の維持管理・運営についての状況はどうか。

答 委託料を計上し、草刈り等の景観管理を行う。施設保全是修繕費で対応する。運営については、自然公園・観光振興を中心に2年以内の事業開始を目標として、能勢町観光協会による指定管理の方向で検討中である。

問 平成29年度から始まる合併浄化槽補助について、申請件数の上限と補助対象は。

答 申請件数については補正対応するが、国の予算範囲があるため単年度あたりの上限はある。補助は、新規だけでなくやり替えも対象としている。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計、それぞれの予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

1月26日、環境教育常任委員会を開催し、安心・安全な通学対策及びささゆり学園の運営状況について調査しました。府道能勢猪名川線歩行空間整備工事の概要、町道平野線2工区歩行空間整備工事の状況、バイパス道路工事全般の進ちょくと供用開始予定時期、ささゆり学園校歌の内容、冬季降雪時の道路安全対策及びスクールバスの安全運行、国道173号線とバイパス道路接点における国道右折レーンの安全性が、主な項目です。

平成29年能勢町議会3月定例会議報告

3月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第8号 能勢町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例について

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

議案第11号 能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議長

議案第15号 平成28年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長

議案第18号 平成29年度能勢町一般会計予算

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

議案第19号 平成29年度能勢町国民健康保険特別会計予算

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議長

議案第21号 平成29年度能勢町介護保険特別会計予算

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

議会議案第2号 中学校「チャレンジテスト」廃止・撤回を求める意見書について

賛 否

否 決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	議長

以下の案件は、全員賛成により可決・適任とされました。

議案第1号 能勢町附属機関に関する条例の一部を改正する条例について

議案第2号 職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

議案第3号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第4号 職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について

議案第5号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第6号 能勢町臨時職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第7号 能勢町税条例等の一部を改正する条例について

議案第9号 能勢町ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

- 議案第10号 能勢町立高齢者デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について
- 議案第12号 能勢町下水道条例の一部を改正する条例について
- 議案第13号 平成28年度能勢町一般会計補正予算（第5号）
- 議案第14号 平成28年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 議案第16号 平成28年度能勢町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第17号 平成28年度能勢町水道事業会計補正予算（第3号）
- 議案第20号 平成29年度能勢町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第22号 平成29年度能勢町国民健康保険診療所特別会計予算
- 議案第23号 平成29年度能勢町農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第24号 平成29年度能勢町下水道事業特別会計予算
- 議案第25号 平成29年度能勢町水道事業会計予算
- 議案第26号 能勢町と豊中市の間における消防事務の委託に関する規約変更に関する協議について
- 議案第27号 大阪府豊能地区教職員人事協議会の規約の変更に関する協議について
- 議案第28号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
堀口 美和子氏
- 議案第29号 能勢町総合計画審議会条例の一部を改正する条例について
- 議案第30号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議会議案第1号 能勢町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

注：議長は、採決に加わりません。

議案第11号 反対討論

中西 顕治

議案第11号 能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の仕組みが複雑になり、素直に議論が出来なくなっている。今回の改正点である負担比率の変更は今まで修正されなかった歪の修正である点は理解する。しかし、国民健康保険税が高いと言われる現状に間違いはなく、住民の生活を圧迫していることは明らかである。

平成30年の国保広域化で、さらなる高負担が予測されるなか、住民の負担が増える今回の税率変更に反対する。

議案第18号 反対討論

中西 顕治

議案第18号 平成29年度能勢町一般会計予算

従来から体制が脆弱だという指摘をしているにもかかわらず「定員適正化計画」に縛られた人員構成のままであることに危惧する。

増加する業務に対して余裕のない配置では、経験の浅い職員が熟達するための研修も受ける機会もなく、リタイヤしていく実態も、もはや必然と言わざるをえない。ストレスに負けない人員を期待する答弁など、時代錯誤と思える対応は即座に改善されるべきであると指摘し本予算に反対する。

一般質問

町民の声を代表して 9人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の議会では、9人の議員が、皆さんの声を代表して質問をしました。

一般質問



大西 則宏

土地活用 for 能勢

若年層の定住促進と雇用の場を創出

問 都市計画法による市街化区域・市街化調整区域の線引き以降、能勢町の実情、社会背景、経済情勢は大きく変化している。若年層の定住促進、雇用の場創出への企業誘致用地確保のため、見直しも含めて制度をどのように進めていくのか。

土地活用に関しては、中長期的展望を都市計画に関する基本的な方針（能勢町都市計画マスタープラン）や総合計画に反映させることが、能勢町を将来につないでいくことにほかならないと考えるがどうか。

答 指定既存集落内等での市街化調整区域において、コミュニティ維持及び地域の活性化を目的とした開発許可制度の弾力的な活用により、基準を

満たしているものについては自己居住用住宅の建築等の開発行為が可能になり、若年層の定住促進や能勢町に住みたい方のイターン、Uターンによる転入が期待されることである。

市街化調整区域内においての企業誘致等による大規模な土地利用については、地区計画制度を活用することとし、その他の小規模な土地利用については、本町独自の提案基準を活用することにより、住民ニーズに対応したい。

都市計画法線引き見直しに関しては、町の総合計画も含めて将来を見越した中での展望を持ちたいと考えている。

弾力的な活用により、基準を



中西 顕治

子どもを取り巻く環境整備を

どう考えるか。

問 昨年、子どもの生活に関する実態調査が行われた。

その結果から、食事が不安定な児童生徒が見受けられることが読み取れるが、対応は。

答 規則正しい生活リズムや家族で食事をするなどの大切さを児童生徒及び保護者に引き続き学校等で啓発、指導するとともに、平成29年度は子どもとしての居場所づくりの一環として夏休みの昼食の提供をパイロット的に実施する予定。



問 学校での朝食の提供をしているところ、学童保育のように軽食を用意するところもあるが、そういう考えはないか。

答 パイロット的に食事の提供を行って、その調査を見て、状況をさらに検討したい。

問 小学校入学前あるいは中学校入学前にまとまったお金が必要というのが現実である。

就学援助費の支給時期を早くすることはできないか。

答 今の制度では、学期ごとに支給を行っている。就学援助費の中には新入学時生徒の学用品費という費目も含まれている。

就学援助費の支給は、前年度の所得の状況を確

まちづくりについて



原田 健志

一、まちづくりについて 二、通学路の安全について

問 少子化対策について

答 子育て支援の充実は、1万人だからできるまちづくりのファーストステップである。

当初予算において入学祝金制度の創設、医療費助成の対象年齢を15歳から18歳への拡充など、保護者の経済的負担軽減に資する施策を盛り込んでいる。

奨学資金は、今年度より奨学支度金として貸与する内容を拡充していく。こうした施策の効果検証を行いつつ、子育て支援の更なる充実を図ることで、若者世代の定住につなげる。

問 移動手段の確保は

要な輸送はバスやタクシー、地域の多様な担い手によって支えられているのが現状である。

住民福祉の向上や交通空白地域の解消を図るため、公共交通空白地有償運送運営協議会等関係機関と協議を行っている。

問 安全と安心のまちづくりのため自主防災組織の整備について

答 自主防災組織は地域住民が協力・連携し、災害から「自分達の地域は自分達で守る」ことを目的に結成する組織である。町では、既にあるコミユニティ組織を利用し組織化を進めていただくよう、区長会等で規約案や助成制度を提示し、立ち上げを呼びかけている。現在1地区が組織化され

ており、防災資機材の整備や防災訓練などの活動を行っていただいている状況である。

これからも積極的に各区に働きかけていく。

通学路の安全について

問 通学路の安全について

答 子どもの安全については、最重要課題である。いろいろな場で検討し、計画的に順次取り組んでいる。

今後も、計画的に安全対策を進めていく。

就学援助の拡充を!





福中 満

農業公社の設立

問 町長の公約である農業公社設立について

答 必ずしも農業公社の設立を目的としたものではないが、まずは集落のコミュニティを守るための多面的機能の活用をはじめ、地域集落で解決するためのサポートや土地改良区が実施する円滑化事業等により、農地の集積を進め、経営規模の拡大を支援する。併せて、公社もしくは公の団体が受け皿となる組織の整備が必要と考えている。

獣害対策

問 今後の獣害対策について

答 今後新たに鳥獣被害特別対策措置法に基づく緊急捕獲事業への取り組みを計画している。昨年

一、農業公社の設立 二、獣害対策 三、森林整備事業

度より実施の緩衝帯整備事業については、一定の防護効果があると考え、

山林所有者と周辺農地所有者のご理解・ご協力を得ながら進めたい。

現時点では有害鳥獣捕獲事業に伴うジビエ等については有効活用を行う考えはない。しかし捕獲

個体の処理は捕獲従事者の最大の懸案であり、関係機関と連携を図り、最終処理のあり方について引き続き検討する。

森林整備事業

問 今後の里山・森林整備について

答 クリの立ち枯れ調査については、昨年度より独立行政法人大阪府環境農林水産総合研究所により、町内4カ所から5カ所の被害園地で継続的に調査が実施され、特定の

園地、数カ所において「黒根立枯病」である可能性が示された。

今後は効果的な防除の手法等の専門知識を有する関係機関と連携して対処していきたい。

町が実施する森林整備支援として、平成26年度から平成28年度に合わせ、搬出間伐、切り捨て間伐、約227ha、路網整備、約1970mの整備を実施してきた。今後も人工林においては森林所有者の理解を得ながら、林野庁所管事業の活用により整備を進めていきたい。



一般質問



長尾 義信

職員の人材育成及び窓口サービスについて

問 職員の人材育成を更に効果的に推進する方針、役割及び住民が満足するより良い窓口サービスの提供を問う。

答 職員自身の意欲により、自己啓発を基本方針と位置付けている。

組織の役割として、外部研修や職場内研修（接遇など）を実施している。

今後、職員個々の能力が最大限に発揮される組織づくりに努める。



能勢の郷の利活用について

問 昨年、大阪府から購入した能勢の郷の現況と今後の利活用を問う。



答 隣接している住宅地に沿って高木の伐採、草刈りやバリケードの設置など安全面の確保及び景観保全を意識した管理に努めている。

今後の利活用については、地元や観光協会などとも協議の上、地域と施設の実情に適した運営方法を検証する。

地域住民の生活に密着した行政サービスの実現を!!

「広報のせ」の発行について

問 紙面を読みやすく、興味を持ちやすい内容にするなど、掲載に対する住民からの要望を聞いている。

全住民に届ける広報紙について、今後のあり方を問う。

答 本年4月から、広報紙を活用した町内事業所のPRを加えるなど、積極的・多角的な情報を発信する。

今後も住民の皆さまにとって読みやすく、分かりやすい広報紙の発行に努める。





中植 昭彦

能勢を明日につなげるために

農商工振興策を問う

問 サポーター制度創設とふるさと納税を活用した税込減少対策を

答 ふるさと納税は、本来都市と地方との税収格差是正のため制度化された経緯がある。

そこで、本町を応援するサポーターを募り、ふるさと納税で税収を増加させてはどうか。

答 ふるさとを離れ、都市部で暮らす方がふるさとを応援する趣旨でスタートした制度であり、提案の応援サポーターを募るなども本来の趣旨に合致するものであると考えられる。検討してまいりたい。

農商工振興策を問う

問 遊休地対策について問う。

答 全国的に遊休農地の発生が社会問題となり、昨年4月に改正農業委員会等に関する法律では農地集積や遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進が農業委員会の義務として位置づけられた。

本町も優良な担い手の確保の手段として両土地改良区が主体となり、遊休地防止の取組みを実施しているが、高齢化、担い手不足、また販路や資材等の必要経費、野生鳥獣の食害など複合的な要因が存在している。関係機関と連携し対策を進める。

問 後継者不足から廃業する事業所が増加している。これまでの経営資産を活かし新しいアイディアで持続的発展をめざす

「跡継ぎベンチャー」が推奨され、サポートプログラムも構築されてきている。本町も導入してはどうか。

答 時代の移り変わりとともに、事業者の事業形態も変化していることから、業態転換や新事業、新分野への進出に取り組み事業者については、創業支援事業において第2創業と位置付け、協力機関と連携し支援してまいりたい。

その他、子ども子育て支援（学力向上、貧困対策、経済支援）等について質問いたしました。

一般質問



木戸 俊治

生活排水処理計画の現状を問う

問 人口減、厳しい財政状況の中、公共下水道事業第4期計画の進捗よく及び下水道アクションプランについて伺う。

答 第4期計画の進捗は、平成28年度末72%の予定で、下水道アクションプランは10年間の長期的な事業であり、平成28年3月に策定し、公共下水道や農業集落排水施設の整備が遅れている地区に浄化槽設置整備事業を導入し、くみ取り及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進させる事業である。

問 本町の合併処理浄化槽は処理形態割合で54.2%とのことであるが、今回の設置整備補助事業の内容と住民への周知は。

答 下水及び農集排の整備区域以外の地域で国庫補助型合併浄化槽を設置する方に設置費用の40%、5人槽で概ね40万円強、循環型社会形成推進交付金を活用し助成を行う。

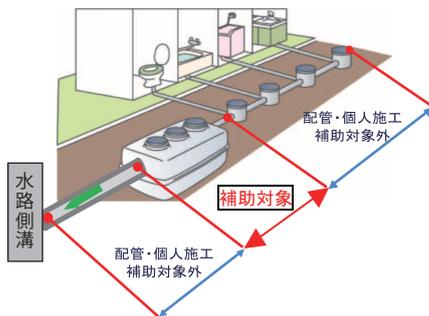
これにより平成29年度は、16基分の設置助成を見込んでおり、申請数が多くなれば補正も必要と考えている。

住民の皆様には反響を注視しながら広報、ホームページ、区長会等を通じお知らせしたい。

なお現在の下排水マスタープランについても見直しが必要と考えている。

問 東地域の農業集落排水事業の構想はどのように進めるのか。

答 今後の展望として、





太平喜代江

人と人がつながり、助け合い、暮らしに安心感が持てるまちづくり

問 ボランティア組織の形成やボランティアが活動しやすい仕組みづくりについて

答 社会福祉協議会とともに活動の支援や人材育成を実施するとともに、食育・介護予防・子育てボランティア等の育成も行い地域での活動を支援している。



問 災害時の避難準備情報について

答 避難勧告等に関するガイドラインが改正され高齢者等が避難を開始する段階であることを明確にするため、「避難準備情報」の表現が「避難準備・高齢者等避難開始」に変更されたところである。

また、本年4月には、災害や防災情報等に関する理解を深めるため、能勢町、池田市、豊能町の要配慮者利用施設への管理者・事業者説明会を開催する予定である。



問 地域担当職員制度について、担当者が地域の課題を共有するよう期待するが、具体的な内容は

答 地域担当職員は、地域との総合窓口として地域課題を共有した上で必要な情報の発信や制度の紹介を行うほか、担当する地区から要望や相談があった場合には、関係部署と連携し、その実現に向けたサポートを行うこととしている。

一般質問



西河 巧

公園の整備

問 子どもたちの遊び場づくり、自然とのふれあいの広場が必要だと考えるが。

答 子育て世代が、住みやすいまちを実現していくためには、本町の豊かな自然を生かすことが大切である。公園の整備については、能勢の郷の活用や、自然体験施設との連携をし、自然と触れ合える場の構築に努めていきたい。



- 一、公園の整備
- 二、交流人口増加への取り組み
- 三、自然環境を活用して魅力ある街づくり

交流人口の増加への取り組み



アガイドの育成など、観光客の受け入れをソフト、ハードの両面から整備することにより、本町の魅力発信に積極的に取り組んでいく。

自然環境を活用して魅力あるまちづくり

問 たくさんの方が能勢町に来られることにより、まちの活性化につながっていくと考える。そのためにも能勢の魅力をどんどん発信していく必要がある。今後どのように取り組むのか。

答 交流人口の増加に向けて、観光ウェブ通信による情報発信や観光案内所のサテライト施設の整備、さらには観光案内板の更新や観光ボランティア

問 自然環境の活用の取組みについて

答 都市近郊にある本町の貴重な自然環境を生かし、レクリエーションや教育の場として、都市との交流や環境保全活動を進めていくことが大切であり、森林資源の活用など、循環型社会の構築に向け、取り組んでいく。

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 中西 顕治

第1回定例会 開催日 2月24日

能勢町役場議場において定例会が開催され、以下の議案について審議し、いずれも原案どおりに可決されました。次に4名の議員がダイオキシン汚染物の処理、住民監査請求への対応などについて一般質問を行いました。

議案

・平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第6号)
神戸市から提示された負担金 117万7千円

・平成29年度豊能郡環境施設組合一般会計予算

予算総額 4344万9千円
(能勢町負担分 1460万1千円)

第2回臨時会 開催日 3月29日

議案

・高濃度汚染物調査特別委員会の証人尋問に係る出頭拒否に対する告発の件
・平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第7号)

訴訟弁護士謝金 48万6千円
訴訟 慰謝料 5万円

高濃度汚染物処理調査特別委員会

地方自治法第百条による調査として2月15日、2月22日、3月1日、3月9日、3月14日の5回の証人尋問を行いました。

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 西河 巧

第1回定例会 開催日 2月13日

国崎クリーンセンター大会議室において定例会が開催され、管理者より平成29年度の事業方針説明がありました。次に3名の議員が業務内容等について一般質問を行い、その後以下の議案について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

議案

・平成28年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合補正予算(第2回)

一般管理費及び施設管理費の調整によるもの
2294万5千円を減額し、予算総額28億8401万8千円
となる

・平成29年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合当初予算

予算総額 29億4947万8千円
(能勢町負担分 1億5981万2千円)

議員総会 開催日 2月13日

第1回定例会終了後、議員総会が開催され以下の報告がありました。
・第2期焼却施設等管理運営業務委託事業者選定について
・第2期焼却施設等管理運営業務委託の概要について
・ごみ処理基本計画について

能勢町議会構成表

(平成29年5月12日現在)

議長	中植 昭彦	副議長	西河 巧
常任委員会	総務民生 ◎中西 顕治 伊木 真由子	○大平 喜代江 大西 則宏	森田 則子 中植 昭彦
	環境教育 ◎長尾 義信 岡本 ひとし	○平田 要 奥 久明	西河 巧 長尾 義和
議会運営委員会	◎大西 則宏 中西 顕治	○大平 喜代江 長尾 義和	長尾 義信
広報特別委員会	◎森田 則子 中西 顕治	○伊木 真由子 奥 久明	長尾 義信
監査委員	長尾 義和		
豊能郡環境施設組合 議会議員	西河 巧 中西 顕治	岡本 ひとし 長尾 義和	大西 則宏
猪名川上流広域ごみ処理 施設組合議会議員	大平 喜代江	平田 要	長尾 義信
都市計画審議委員	西河 巧 中西 顕治	大平 喜代江 奥 久明	大西 則宏 (~H29.11.20)

◎:委員長 ○:副委員長 委員は議席順

編集後記

新緑の季節、新議会がスタートし
広報特別委員会も新メンバーとなり
ました。

「議会だより」を通して町民の皆様
に、より身近な議会、町政の様子を
お伝えしてまいります。

議員一同、本町活性化のため全力
で取り組んでまいります。

広報特別委員会

委員長 森田 則子
副委員長 伊木真由子
委員 奥 久明
長尾 義信
中西 顕治

お気軽にみなさんのご意見
ご感想を、お寄せください。

電話 七三四一〇一五
FAX 七三四一四六〇
『広報特別委員会』

までお願いします。

発行/能勢町議会

発行責任者/中植 昭彦 編集/広報特別委員会 発行日/平成29年6月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL (072)734-0151 FAX (072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>